

これからの相談・支援を考える

夏の精神保健セミナー

日頃、わたしたち保健師は、年齢や疾患、相談内容もさまざまな方に
 対応していますが、困りごとを抱えた方々はすべてこの問題をかか
 えていると言っても過言ではありません。

ご相談者やそのご家族の気持ちを尊重しながらの支援について、また、
 日常の個別支援や事業をどのように予防活動に活かせるのか、参加者
 の皆さんとともに考えます。



9/8(金)
 18時開始
 ~
 9/10(日)
 15時

9/8
 (金)
 18-20
 時

「ひきこもり」といわれる方への支援を考える

竹内 真弓 医師(代々木病院精神科)

「ひきこもり」は社会問題として広く認知され、その長期化、家族と本人の高年齢化が問題となっ
 ています。「本人に会えないまま家族支援のみが長期化してしまう」という悩みも多く聞かれます。
 なぜ、ひきこもりは起きるのか。保健師として、幼少時のトラウマ、家族支援について考えます。

9/9
 (土)
 9-17時

その人らしい生き方を支える～生活臨床の基本～

伊勢田 亮 医師(元都立精神保健福祉センター所長)

精神疾患をもつ患者さんと向き合うとき、患者さん自身や家族の生活史や考え方、大事にして
 いることなどを聴くことが、その後の支援を考える際の重要なヒントになることがあります。
 「生活臨床」についての基本を学び、事例検討で深めていきます。
 朝日からの支援に活かしましょう。

9/10
 (日)
 9-15時

母子保健から始める児童虐待予防

藤山 拓男 医師(とよたまこころのクリニック)

少子化が国の重要課題とされるほど、こどもの人数が減ってきているにもかかわらず、
 児童相談所への児童虐待の通告件数は増え続けています。母子保健としてすべての母子を
 対象として支援ができる立場にある保健師が、「虐待」に至る前に何ができるのか、講義と
 事例を通して考えます。

参加費： 会員 4,000円 非会員 5,000円

定員： 50人(先着順、申込みは8月31日まで)

会場： 江東区文化センター 3階第4・5研修室
 (東京メトロ東西線「東陽町駅」1番出口より徒歩5分)

☆事例提供お待ちしております。 ☆どの講座からでも参加できます。



【参加申し込み方法】

申し込み：8月31日（木）まで

郵送かメールにてお申し込みください

◎郵送の方 チラシをコピーしていただき、下記に記入の上、郵送して下さい

宛先：〒135-0016 東京都江東区東陽 2-1-1

江東区保健所保健予防課 竹内 慶子 宛

氏名 (会員・非会員)	連絡先(電話番号)
所属	事例提出 有 ・ 無
住所 〒	(自宅 ・ 職場)
参加予定の講座・学びたいこと	

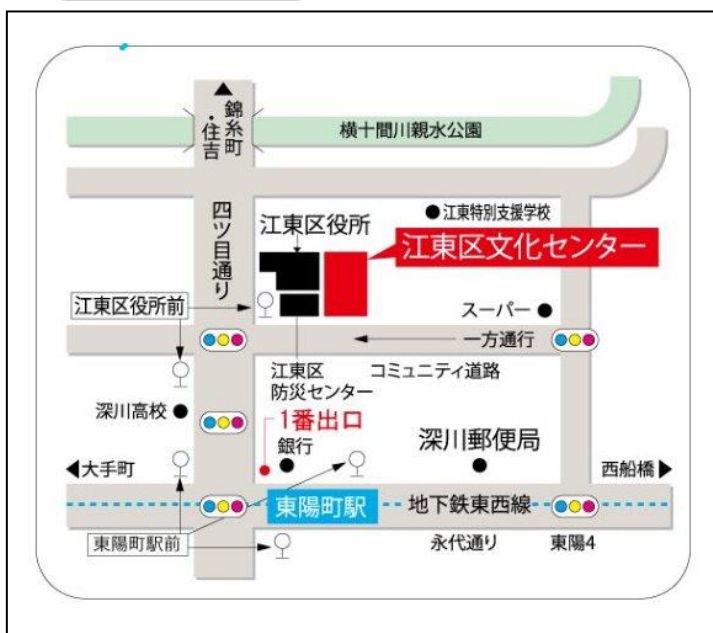
◎メールの方 「精神保健セミナー参加希望」とタイトルをつけて送信して下さい

アドレス：phntudoj@yahoo.co.jp 全国保健師活動研究会 事務局あて

送信内容：1. 氏名(会員・非会員) 2. 郵便番号・住所 3. 電話番号

4. 所属 5. 事例提出の有無 6. 参加予定の講座・学びたいこと

会場はこちら



交通案内



電車利用の場合

東京メトロ東西線「東陽町」駅 1番出口より徒歩5分



バス利用の場合

- JR「錦糸町」駅または都営新宿線「住吉」駅より
 - 1. 東22系統「東京駅丸の内北口」⇔「錦糸町駅前」
- 都営新宿線「東大島」駅より
 - 2. 門21系統「東大島駅前」⇔「門前仲町」
 - ※1.2.とも「江東区役所前」下車徒歩3分
- JR「亀戸」駅または都営新宿線「大島」駅より
 - 3. 亀21系統「東陽町駅前」⇔「亀戸駅前」
- 「亀戸駅通り」より
 - 4. 都07系統「錦糸町駅前」⇔「門前仲町」
 - ※3.4.とも「東陽町駅前」下車徒歩5分

<お問い合わせ>

全国保健師活動研究会 事務局 メールアドレス：phntudoj@yahoo.co.jp

*緊急時 江東区地域ケア推進課 澤井 ☎ 090-1457-8594

江東区保健所保健予防課 竹内 ☎ 03-3647-6671

